

Change.org に掲載した「安心できる介護を！懇談会」の署名

介護職員が、しんどくて辞めずに働き続けられるように！  
誰もが必要な介護を、安心して受けられるために  
国に声を届けます！

賛同署名が1万人を突破しました。ありがとうございます。秋には  
国に提出したいとおもっています。更に拡散をお願いします。



# 大阪市は悪い事業計画を進めている！

長らく待たされ

やっと大阪市と協議

今、懸案となっている

来年度からの大阪市の要  
支援者を対象にした介護  
事業、更に介護職の処遇  
改善問題などについて、  
二月と三月に要請文を提  
出してきましたが、七月  
二一日、やっと協議会を  
もつことができました。

「安心できる介護を！

懇談会」と「おおさかユ

ニオンネットワーク」が

申入れ団体ですが、ネッ

トや通信を見て来られた

方、日下部さんから社会保

障推進協議会の方、大手

新聞記者など、昼間の時  
間帯にも関わらず一五名  
の参加となりました。

ほとんどの人が緩和型

大きな焦点は、緩和型

無資格者による二五%

報酬減の生活援助に特化

した訪問介護の導入。既

にサービスを受けている

人は現行サービスだが、

新規の人は現行サービス

か緩和型かを振り分ける

としています。その振り

分け基準として出してき

たのがとんでもない代物。

認知症がけっこう進んで

いる状態か、ベッド生活



七月二日午後一時～三時  
大阪市との協議会  
役所地下会議室にて

が主で車いす生活の人、  
それに準じる様な身体状  
況（その詳細も不明確）  
でないと現行サービスが  
受けられないのです。そ  
もそもそういう人なら要

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

支援ではなく要介護のはず。これでは大半がアウト。何を根拠にこんな基準を持ち出したのか?! 問い正しましたが聞き治るばかり。

### 委員にお願い文書

更に七月二七日には「大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会分科会」というのを聞いて、了承を受けたら細部を詰めて確定というのです。

これはエライこっちゃ、時間がない、でも諦めないと、数人の委員に市案に反対を!とお願いの文書を出しました。当日は二〇名全員の分の「お願い」を持参し、市の事務

局担当を通し、開始直前に配布してもらいました。

### 解っていない人たちが了承

当方は七名で二時間傍聴しましたが、屁みたいな審議会でした。

一人の委員が「市民団体からの意見ではほとんど緩和型に振り分けされると書かれているが」と市に問うてくれましたが、河合課長は「四割が現行サービスを受けられる」といい加減数字を並べて答弁。あーあそうですか…で終わり。何人もの委員が「総合事業について良く分からない」と言いながら質問したり意見を述べる、焦点になってい

る問題に踏み込んで意見が言えるような人は見当たらないのです。

### 決めるのは市

最後に、東京から来ている多田羅会長が異議ありませんねと纏めました。そして「国の枠が無くなり、市町村が独立して施策をつくれるようになった、画期的なこと、大阪市はこの事業にどの位の予算を考えているのか」と質問。これは大いなる誤解です。会長自らが審議の対象となっている事業について如何に理解していないかを、最後の最後に自己暴露する格好になりました。

到底納得できない私たちに「決めるのは市、事業者には説明したら済む話。もう十分説明したでしょ」と、極めて官僚的で傲慢な姿勢を露わにしたのが責任者の河合課長さんです。介護給付をいかに抑えるか、そこが出发点であり結論なのです。

### 最悪の振分け案撤回を

私たちは再度市に要請文を出し協議の場を求めます。多くの事業者・市民に要支援切り捨ての事実を知らせ、異議ありの声を集めなければなりません。ご協力をよろしくお願いします。